

|                                                               |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>松山<br/>清</p>                                               | <p>原<br/>敏子</p>                                                                                                                                           | <p>在原<br/>博</p>                                                                                                                           | <p>赤星<br/>行人</p>                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                              |
| <p>○ 横田基地について<br/>横田基地の全面返還を求める運動をする考えがあるか<br/>○ 学校給食について</p> | <p>○ 市内の交通網の整備について<br/>市内循環バスの運行について<br/>○ 老人福祉について<br/>1 高齢者の医療について<br/>2 高齢者の住宅について<br/>○ 国民健康保険について<br/>今後の国保運営について<br/>○ ゴミ減量について<br/>ゴミ減量の施策について</p> | <p>○ 都道3・4・5号線整備について<br/>1 奥多摩街道拡幅について<br/>2 地下道について<br/>3 歩道整備について<br/>○ 雨水排水対策について<br/>全地域の雨水対策について<br/>○ 福祉行政について<br/>高齢者対策の充実について</p> | <p>○ 福祉行政について<br/>1 総合福祉センター建設のその後の経過について<br/>2 これからの福祉のあるべき方策について<br/>○ 教育行政について<br/>1 学校におけるボランティア育成のその後の状況について<br/>2 私立幼稚園施設整備費補助金（利子補給）について<br/>○ 市民会館駐車場について<br/>市民会館駐車場ビル建設について<br/>○ 組織の見直しについて<br/>今後の考え方について</p> | <p>2 組織の見直しについて<br/>○ 横田基地について<br/>返還された場合の対応について<br/>○ 市営霊園と斎場について<br/>1 市営霊園設置についての考え方<br/>2 斎場の建設について</p> |
| <p>一 時 間<br/>三 十 分</p>                                        | <p>一 時 間<br/>三 十 分</p>                                                                                                                                    | <p>一 時 間</p>                                                                                                                              | <p>一 時 間<br/>三 十 分</p>                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                              |

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                           |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 田村<br>正秋 | <p>1 中学校給食審議会の審議経過について</p> <p>2 小学校給食の食器の改善について</p> <p>○ 区画整理について</p> <p>田園西地区土地区画整理事業の現状について</p>                                                                                                                                                                                                                       |                           |
| 上野<br>重勝 | <p>○ ゴミ対策について</p> <p>粗大ゴミの再生利用販売等について</p> <p>○ 福祉行政について</p> <p>市民参加のまちづくりとの関連から福祉センター建設の意見の取り上げ方等について</p> <p>○ 片倉跡地の有効利用について</p> <p>芸術小ホール、多目的ホールの建設等について</p> <p>○ 福祉行政について</p> <p>高齢者対策について</p> <p>○ ゴミ減量について</p> <p>1 埋め立て地について</p> <p>2 リサイクルについて</p> <p>○ 片倉跡地の利用について</p> <p>1 経過と見通しについて</p> <p>2 総合福祉センターについて</p> | <p>一 時 間</p> <p>三 十 分</p> |
| 大森<br>進  | <p>○ 米軍横田基地について</p> <p>1 軍事演習「チームスピリット」について</p> <p>2 騒音測定機の機能と記録の表示について</p> <p>3 横田基地資料集（白書）の進捗状況について</p> <p>4 9、11月期の離着陸数について</p> <p>○ 保育行政について</p> <p>産休明け保育の実施について</p> <p>○ 生活資金貸付事業について</p> <p>緊急時における生活資金貸付事業について</p> <p>○ 教育行政について</p> <p>1 「即位の礼」についての教育委員会の対応と考え方について</p> <p>2 就学時健診についての実施状況と考え方について</p>       | <p>一 時 間</p> <p>五 十 分</p> |



1 議会事務局職員は次のとおりである。

|        |        |      |        |      |        |
|--------|--------|------|--------|------|--------|
| 議会事務局長 | 古谷 正夫君 | 議事係長 | 島田 幸治君 | 臨時速記 | 山川 芳子君 |
| 事務補佐員  |        |      |        |      |        |

一 出席説明員は次のとおりである。

|          |         |        |        |         |         |
|----------|---------|--------|--------|---------|---------|
| 市長       | 石川 彌八郎君 | 助役     | 浅見 裕康君 | 収入役     | 内田 和雄君  |
| 教育長      | 来住野 和也君 | 企画財政部長 | 野沢 久人君 | 総務部長    |         |
| 市民部長     | 岩崎 好亮君  | 福祉部長   | 石川 和夫君 | 建設部長    | 小野 光朗君  |
| 教育次長     | 矢崎 茂夫君  | 監査委員   | 黒田 登君  | 選挙管理委員長 | 川辺 登茂次君 |
| 行政推進担当参事 | 関口 清君   | 庶務課長   | 井梅 義彰君 |         |         |

一 本日の日程は次のとおりである。

平成二年第四回福生市議会定例会議事日程(第二日目)  
開議日時 十二月六日(木) 午前十時

|       |         |                                             |
|-------|---------|---------------------------------------------|
| 日程第一  | 一般質問    | 平成元年度福生市一般会計決算認定について (審査報告)                 |
| 日程第二  | 議案第八十三号 | 平成元年度福生市一般会計決算認定について (審査報告)                 |
| 日程第三  | 議案第八十四号 | 平成元年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について (審査報告)           |
| 日程第四  | 議案第八十五号 | 平成元年度福生市老人保健医療特別会計決算認定について (審査報告)           |
| 日程第五  | 議案第八十六号 | 平成元年度福生市福生都市計画事業福生土地区画整理事業会計決算認定について (審査報告) |
| 日程第六  | 議案第八十七号 | 平成元年度福生市下水道事業会計決算認定について (審査報告)              |
| 日程第七  | 議案第八十八号 | 平成元年度福生市受託水道事業会計決算認定について (審査報告)             |
| 日程第八  | 議案第九十四号 | 福生市立学校施設整備使用条例の一部を改正する条例                    |
| 日程第九  | 議案第九十五号 | 福生市特殊疾病患者福祉手当条例の一部を改正する条例                   |
| 日程第十  | 議案第九十六号 | 平成二年度福生市一般会計補正予算(第三号)                       |
| 日程第十一 | 議案第九十七号 | 平成二年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)                 |
| 日程第十二 | 議案第九十八号 | 平成二年度福生市下水道事業会計補正予算(第二号)                    |
| 日程第十三 | 陳情第二十三号 | 「ゆとり宣言」の決議に関する陳情書                           |
| 日程第十四 | 陳情第二十四号 | 育児休業法の早期制定を求める陳情書                           |
| 日程第十五 | 陳情第二十五号 | 高齢者福祉事業改善についての陳情書                           |
| 日程第十六 | 陳情第二十六号 | 年金制度改善についての陳情書                              |



日程第一 初日に引き続き一般質問を行います。まず九番在原 博君。

(九番 在原 博君登壇)

○九番(在原 博君) おはようございます。御指名をいただきましたので、会議規則に基づきまして、さきに通告した一般質問をさせていただきます。

質問事項の一といたしまして、都道三・四・五号線の整備について。

一、奥多摩街道の拡幅について。都市計画道路三・四・五号線、熊川地区の区画整理も、地元関係者の御理解と御協力により、用地買収が進んでいるようですが、現況をお願いいたします。

二点目の地下道について。熊川農協前の地下道については、長年、地域会館、通学路、熊川神社、生活道路として、付近住民が利用されております。今回、拡幅整備に伴って、この機会に、さらに地下道の拡幅、スロープ化等、お願いを東京都へ要望していただき、市でも全面的に御協力をお願いいたします。

三点目、歩道の整備について。地元関係者の御理解と御協力により、拡幅が進むわけでありますので、地域の方々が、生活する上でふさわしい歩道の整備をお願いいたします。熊川中心地域でもあり、重要幹線道路でもあり、今後、片倉跡地利用上からも商業振興上からも重要な歩道になるわけですから、歩道の整備については、東京都に強く要望をお願いいたします。

また、付近の五日市街道、秋川市役所前、原店地域等、インターロッキングによりカラー舗装になり、まち並みも明るく変わってきました。また、街路樹についても、研究していただきたいと思います。

次に、雨水排水対策について。

一、全地域の雨水排水対策について。当市の公共下水道は、関係者の御理解と御協力により、一〇〇％の完成をいたしました。市民が快適な生活ができることは、喜ばしいことであります。雨水排水対策については、最近の道路舗装率等の上昇、市街化の進展に伴い、市内の一部に降雨により浸水箇所が見受けられます。当市は幹線が進み、中幹線と進められておりますが、現在どのような計画をお持ちでしょうか。今後は、幹線、中幹線に流入できるよう、生活道路等の浸水区域等を重点的に整備を行って、雨水を適切に排除できるよう、お願いをいたします。

三点目、福祉行政について。

高齢者対策の充実について。本格的な高齢者社会の到来により、高齢者の多くは、暮らしや住まい、健康、仕事、生きがいなどの面でさまざまな問題を抱えております。中でも、今後、増大が見込まれるひとり暮らしや寝たきり、痴呆性的高齢者対策は、大きな問題となっております。自治省の平成二年度の市町村における地域政策の動向についての調査結果をまとめた、これは各市町村が当面する地域課題と、それに対応する地域づくりや地域政策の動向について調査したもので、確実に到来する高齢者社会の対応に積極的に取り組んでいくとする姿勢が伺われる。このことは、また重点施策として挙げられた社会福祉の充実の中でも謙虚にあらわれており、在宅老人福祉対策、老人生きがい対策、老人健康管理対策などの高齢者に対する施策が上位を占めていると報告されております。そこで、当市におきまして、寝たきりの高齢者の方々に福祉手当の支給、在宅サービス充実として、社会福祉協議会を通じて、在宅の寝たきりのひとり暮らしの高齢者の方々に対して、短期間の保護、入浴サービス、食事サービスなど取り組んでいることに、市民からは大変喜ばれていることについても深く認識しておりますが、特に寝たきりの高齢者を抱えている家族の皆さんの声として、他市でも実施しております日常生活用具とも言えるおむつ等の支給に取り組んでいただけるかどうかお聞かせをいただきたいと思います。

それから、寝たきり高齢者を介護している方が、冠婚葬祭や病氣通院などで外出するような場合、一時的に高齢者等をお預かりしお世話するサービスなどについて、取り組んでいただけるかお尋ねいたします。以上をもちまして、私の登壇による質問を終わります。

(市長 石川彌八郎君登壇)

○市長(石川彌八郎君) 在原議員さんの御質問に御答弁申し上げます。

最初に、都市計画道路三・四・五号線の整備についての一点目。奥多摩街道の拡幅について、の現況でございますが、この件につきましては、林田議員さんにも御答弁を申し上げておるところでございますが、昭和六十年から地元関係者の御理解と御協力をいただく中で、東京都におきまして、用地買収が行われているところでございますが、現在まで全体の約七〇％弱の買収が完了しているところでございます。

らに、現在残っている土地につきまして用地交渉を行っておりまして、難しい状況も予想されるかと思えますけれども、何とか平成三年度までには買収を完了させ、でき得れば平成三年度中には一部事業に着手してまいりたいというのが、東京都の考え方のようでございますので、御理解をお願いいたしますと存じます。

次、二点目の地下道についての考え方でございますけれども、熊川農協前の地下道につきましては、現在まで二十二年間通学路として、また付近住民の利便に供されている交通安全上からも、大変重要な役目を果たしているものでございます。今回の拡幅整備に伴って、現地下道を残すことはもちろんのことでございますけれども、この機会にさらに地下道の拡幅あるいはスロープ化等の機能の向上を図っていただくよう、東京都へ要望はいたしております。しかしながら、用地買収やあるいは勾配等の技術的なことからいたしまして、それに関しては、大変難しいというようなことのようにございます。しかしながら、照明をさらに明るくすることや、あるいは壁面あるいは階段の改修等につきましては、可能であるということでございますので、さらに市の要望に沿った方法で改修ができますよう、今後とも東京都へ要望してまいりたいと思っておりますので、御理解をいただきたいと思います。

次に、三点目の歩道の整備についてでございますが、現在、東京都の計画では全体の道路幅員は二十メートルで、そのうち歩道幅員を四・五メートルにいたしまして植樹帯を設置して、そしてまた透水性の舗装を行う予定のようでございます。しかし、御指摘のように熊川地区の中心を通る重要な幹線道路でもございますので、市といたしましても、できるだけこの地域にふさわしい歩道整備ということで、例えばインターロッキングによるカラー舗装ができないものであろうかとか、また、他市においても、都道の整備に伴って一部歩道のカラー舗装等も行われているところもございまして、これらを参考にいたしまして、今後、東京都へ要望してまいりたいと思っております。

また、道路景観等を高めるための街路樹等につきましては、今後、市の意向を十分に聞く中で選定していくことは可能であると東京都から伺っておりますので、御理解が賜りますればと存じます。いずれにいたしましても、市におきましては、大変重要な道路でございますので、地域にふさわしい道

路整備ができますよう今後、市といたしましても東京都へは全面的に協力をしながら、さらに努力をしてまいりたいと思っておりますので、よろしく御理解をいただきたいと思います。

次に、雨水排水対策についてでございますが、当市の公共下水道は美しく住みよいまちづくりを目標として整備を推進してまいりまして、市議会を初め市民の皆様との御理解と御協力により、昭和六十年代末をもちまして、市街地全域に汚水管渠一〇〇％の完成を見るに至り、市民が安全で快適な生活ができる環境の整備と、何といたしても、多摩川の水質保全が図られる公共下水道施設が完成したことであります。

さて、御質問の全地域の雨水計画でございますが、昭和四十八年に公共下水道計画の認可を受けて、汚水管の整備とともに雨水幹線の整備が防衛補助事業の一環として四経路に分かれ進められ、それぞれの流末は多摩川へ流出しているわけであります。現在施行している下の川の改修工事の完成により、基幹となる雨水管の整備が完成することになります。したがって、現在は四経路に接続する、いわゆる次の整備段階である口径七百ミリメートル以上の準幹線に力を注いでいる状況でございます。これらの準幹線整備事業は、主に建設省所管補助事業、これは補助率は二分の一ということでございまして、そういったことで進めているわけでございますけれども、幹線及び準幹線を含め、元年度末、現在の雨水管渠の整備率は全体では二七％となっております。本年度において、中福生通りから新橋までの区間及び市民会館東側のわらつけ街道等、五路線の工事を行っており、来年度に向けては新橋から奥多摩街道までの区間及び熊川地区の国道一六号線武蔵野陸橋下の山王橋通りの二路線の実施計画を行っております。

いずれにいたしましても、健康と快適環境を求める市民にとっての下水道へのニーズは極めて強いものがあり、しかも事業の完成には巨額の費用を要するものであり、厳しい財政状況下の中では、裏負担を考慮しながら、実施計画を進めてまいりたいと思っております。

また、今後の重要な課題である生活道路等の準幹線の接続に際してでございますが、いわゆる樹木に例えれば、枝に当たる部分の雨水処理については、既設管渠として整備済みの部分もあり、それらとの整合性を調査、研究しながら、溢水対策も含め、実態に合った枝管整備を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

次に、福祉行政について。

高齢者対策の充実について、御答弁申し上げます。

本格的な高齢者社会の進展を迎える中で、今後、増大が見込まれるひとり暮らしや寝たきりの高齢者対策は、これからの重要な行政課題であると、深く認識しているところでございます。特に在宅の高齢者を介護している家庭にとって、入浴と排泄の世話が肉体的にも精神的にも一番大変であると痛感をいたしており、今後の在宅福祉の施策の体系化の中で前向きに検討してまいりたいと思っております。

また、在宅の高齢者を介護している方が冠婚葬祭や病氣通院などで外出するような場合、昼の間だけ一時的に高齢者等をお預かりしてお世話をするサービスにも、仮称福祉センター建設の中で実施できるよう努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上で、在原議員さんからの御質問に対する答弁とさせていただきます。

○九番（在原 博君） ありがとうございます。

自席から再質問をさせていただきます。

奥多摩街道拡幅については、昨日、林田議員さんにもお話をしておりますので、わかりました。これは、以上で終わりたいと思います。

二点目の地下道についてでございますが、今、市長の答弁で二十二年間使用したので、前向きに検討していくというようなことでございますが、スロープ等の問題は、なかなか用地の関係で難しいというようなお話ではございますが、せっかく拡幅が進むわけでございます。一たん、拡幅をして整備されますと、あの道路は何十年もそのままというような状況の道路の整備だと思います、今度の道路を整備いたしますと。そういった関係で、後から地下道が少し狭かったとかスロープにしておけばよかったというようなことの悩みのないような形で、また、ただいま平成三年度ぐらいから着手していきたいというようなことでございますので、まだ時間的には十分あるわけですから、これから高齢化社会、また障害者の方々が熊川の公園に行ったり、また田園の方へも行けるような形の努力を積み重ねていただきたいと思います。また、交通安全

上も非常に今度二十メートルからになりますと、なかなか上を通っていくというわけにはいかないと思います。そういった意味で、道路が拡幅されましたからだと、なかなかできないと思うので、この点も東京都へ強く要望していただき、また早い時点で用地等の買収等も進むような形で努力していただきたいと思います。

確かに、私もあのそばにいたのでよくわかるのですが、道路も市道が狭まうございます。また、向こうへ渡りますと、お墓等がございました、なかなか用地の確保というのは難しいかと思いますが、研究していただき、拡幅をしていただき、またスロープ化をお願いをしたいと思っております。これはこれで要望してきます。

三点目の歩道の整備についてですが、これも私も先ほど申しましたが、五日市街道の秋川の市役所とか、原店の地域等がインターロッキング、カラー舗装にされたわけなのですが、非常に町並みが明るくなりました。原店のところを、私ちょっと概算をしてみますと、約二千メートルぐらいではないかと思えます。現在、熊川の地区の拡幅、五日市線の踏切まででも千メートルぐらいではなからうかと思えます。また、そういう中で片倉の跡地を利用する上からもインターロッキング、そういったレベルアップしたような形の歩道にしていだくということが、熊川のあの辺の商業の活性化にもつながるし、またいろいろな面で、これから多くの人が利用する上でも必要ではなからうかと思っておりますので、この辺につきましても、ぜひひとつ御努力をお願いしたいと思います。

また、同時に雨水管をまた水道管とか敷設するわけだと思っております。それらも、地域住民が今後利用する上で、問題のないような形で敷設をしていただくよう要望しておきます。歩道については、そういった意味で、ぜひとも浸透性の黒いカラー舗装で終わったというようなことのないように、御努力をお願いしたいと思います。昨日も「輝く街・福生」、ACCというようなことが何回か出てまいりましたが、これから都市計画道路も何本か計画を持って予定していても、なかなか進まないのが現状だと思っております。でも、あの地域は、熊川の方々の御協力によりまして拡幅ができるわけですから、どうかその「輝く街・福生」は、熊川地域のあの奥多摩街道から「輝く街・福生」になるような形の御努力をお願いしたいと思います。

います。よろしく願いをします。これも要望しておきます。

次に、雨水対策ですが、非常に幹線も進み、現在中幹線です。本年度、四路線、来年度、二路線の計画を持っておるといふようなことでございますが、特に私も山王橋通り、武蔵野陸橋の下、周辺は非常にこの辺は通勤、通学等の重要な道路でもございます。浸水するというようなことはないので、雨が多きときなど非常に排水状況もよくないようでございます。来年度に計画を持っておられるようでございますので、ぜひとも進めていただくとお願いをしたいと思います。また、福生市においては実施計画、年次計画を組んで進められていると思いますが、予算等の問題も含め、計画等の見直し、早期実現のために一段の御努力をお願いしたいと思います。

また、本年は非常に台風の多い時期で、浸水箇所とかこれに出動した回数とかわかりましたら、お答えを願いたいと思います。よろしくお願いいたします。

三点目の福祉行政についてですが、高齢化社会の到来とともに寝たきりの方々が非常にふえてまいり。在宅で介護している方々は、非常に大変なことでございます。そこで、おむつ等の支給をというようなことで、ただいま市長から前向きに検討をしていくというようなことでございますが、ぜひとも介護する人たちが、またそういったおむつを取りかえることによって、その人との対話もできるわけです。また、その人たちがおむつが取れるような、そしてまた、復帰できるような形のためのやさしい気持ちというものが、私は特に必要かと思えます。在宅で頑張っている方というのは、八〇％が女性の人が介護をしてくださるというようなことでございますので、ぜひともこの辺につきましても、前向きに検討していただくといいことでございますので、お願いをしたいと思います。

また、現在寝たきりの高齢者の方が何人ぐらいおられるか。また、在宅病院施設等におられるかと思いますが、その辺のところと、それからここ数年間の状況等をお聞かせをお願いしたいと思います。

以上で、二回目の質問とさせていただきます。

○建設部長（小野光朗君） それでは、在原議員さんの御質問に自席から御答弁申し上げます。

雨水排水対策の関係でございますけれども、ことしは、最初のうちは異常渇水ということで、水道の間

題でいろいろ苦勞したわけでございますけれども、その後、台風がことしは十一月三十日まであったという状況の中で、例えば道路関係ですと、浸水ではございませんけれども、冠水というか、あふれたというのでしょいか、そういうのが三十一カ所ぐらい出てございます。それと、あと浸水箇所といたしましては、下の川のほたる公園の下に住宅が一軒あるわけでございますけれども、ここが二回ばかり浸水して対応したということがございます。いずれにいたしましても、消防団、消防署、市の関係職員ということで対応してございますので、以上、御報告申し上げます。

○福祉部長（石川和夫君） 老人福祉手当の支給状況に絡みます入院あるいは在宅の内訳でございますけれども、手元にあります資料で申し上げますと、六十一年からになりますけれども、六十一年度におきましては、対象者が九十人でございます。六十二年度におきましては八十人、六十三年度は八十九名、元年度が百名、二年度、現在までのところでございますけれども、百九名でございます。現在、百九名のうちの五十三名が在宅でございます。五十六名が入院というような状況になっております。

○九番（在原 博君） ありがとうございます。

日ごろの努力により、浸水箇所も、今年度、台風があったにもかかわらず、非常に少なかった。ぜひとも、そういうようなところは、積極的に浸水しないような形で排水の努力をお願いをしたいと思います。また、ただいま出動したというようなことでございますが、私も台風のときには、ほかの町内までというわけにはいきませんが、自分の町内ぐらひは必ず回って見るようにしております。また、十一月の三十日の、時ならぬ台風ときには、私も多摩川の水量がどうなのか。また、下の川の水量がどうなのかというようなことで、六時か六時半ごろ回ってみました。そういたしますと、市の職員の方々が警戒をされ、建設部の方々が中心となって警戒体制に入っていた。市民の一人として心強く、十二月になろうという冷たい雨の中を警戒されていた。これは非常に感謝をしているところでございます。どうか、職員の方々も安心してそういったことのないような形で、ひとつ今後とも予算等の関係もあると思いますが、前向きに御検討していただいて、雨水排水に対する取り組みをしていただきたいと思います。

また、高齢者対策の充実にについてでございますが、ただいま部長から答弁をいただきました。現在、百

九名の方々が寝たきりとしておられる。それで、在宅の人が五十三名ということですが、在宅で見ている方々というものは毎日のことでございます。そういった点で、なかなか大変かと思うので、きめ細かな対策を考えていただきたいと思えます。また、ここ数年間の状況もただいま報告されましたが、高齢者の人がふえている割に、その割にふえていない。これは、市のそういった皆さん方の社会福祉協議会の方々、また福祉の関係者の方々の高齢者に対する取り組みにより、こういった問題が、その割にふえていないということの結果が出ているのだと思えます。外国、アメリカなどでは寝たきりという人は一人もいないのだということも言われております。どうかそういった意味で、寝たきりのゼロを目指すような意味からも取り組んでいただきたいと思います。

また、政府でも高齢者保健福祉推進十カ年計画で総事業費を約六兆円を組んで、平成二年度には約三千六百億円を見込み、寝たきり老人のゼロを目指して、在宅福祉サービスの充実に努めるというようなことがうたっております。どうか国とか都とか、また市が一体となってそういった人たちのために、今後とも御努力を願うことをお願い申し上げまして、一般質問を終えさせていただきます。ありがとうございます。

○議長（仲村清信君） 次に、十二番原 敏子君。

（十二番 原 敏子君登壇）

○十二番（原 敏子君） 一般質問をさせていただきます。

まず初めに、市内の交通網の整備について。

市内循環バスの運行について、お尋ねしたいと思えます。福生市は、御承知のように東側を米軍横田基地によって占められていますので、横に長い行政面積となっています。南北に長い地形の福生市におきまして、市民の皆さんの足をどう確保するか。そのために、市内をめぐる循環バスの運行を実施してほしいという要求があります。市民の皆さんの利用する公共施設は、市内の各地に点在しています。それらの施設は、市民の皆さんが利用して初めて生きるものであり、どこの地域に住んでいようと利用しやすいもの

でなくてはなりません。そのためにも、市内循環バスは必要だと考えています。駅から遠い市民の方たちは、バスもないということで、交通手段として、通勤や通学に自転車を利用せざるを得ない状況があります。その結果、駅に自転車があふれているという状況です。武蔵村山市では十年前前から、市内循環バスを走らせて市民の足を確保しています。福生市でも武蔵村山市のように、民間のバス会社に補助金を出して実施すべきと考えますが、市長の見解をお尋ねいたします。

次に、老人福祉について。

高齢者の医療について、質問いたします。高齢者の医療の改善が進められようとしていることが、新聞報道により明らかになりました。この新聞報道によりますと、老人医療費の負担のあり方を検討していた厚生省の老人保健制度研究会が十一月十六日、老人患者の自己負担増を求める報告書を老人保健審議会に提出したと報道しています。その内容は、現在の定額制をやめてかかった医療費の額に応じて患者の負担がふえる定率制を一定の上限を設けて導入しようというものです。老人保健審議会は、これを踏まえて十二月中に答申をまとめて厚生省に提出することとなっているようです。このように、毎年のように老人医療が改善されていくと、これからの老人医療はどうなっていくのか不安でいっぱいです。

また、政府は高齢者保健福祉推進十カ年戦略を進めているようですが、この戦略というものはどういふもので、現在どこまで進んできているのか、また、これを受けて福生市として、今後の高齢者医療を含めての高齢者対策はどう進んでいくかとしているのか、お尋ねしたいと思います。

次に、高齢者の住宅についてです。私は、これまでも高齢者の住宅問題につきまして質問をしてまいりましたが、いまだに実施されていませんので、また再度、質問をいたします。高齢者の皆さんへの住宅あっせんは、私が申し述べるまでもなく全都的に緊急課題となっており、東京都でも施策を打ち出しています。いまや、高齢者の皆さんの住宅問題は深刻なものがあつた。特に、ひとり暮らしの高齢者にとっては、なかなか住宅を貸してもらえないという事態も生まれています。こういう事態を解決するため、各地で高齢者住宅が設置されたり、家賃の補助や民間アパート、借家のあっせんなども施策として実施されつつあります。福生市といたしましても、このような施策が急いで必要であると考えています。高